

IAPH技術委員会の活動概況について



本部事務局

鈴木健之

IAPH 技術委員会

○ 気候とエネルギー Climate & Energy

- IMOにおけるGHG規制の進捗状況
- ICSとの共同P：代替燃料ハブ
- ツール：
 - ✓代替燃料に対する港の成熟度指標(PRL-MF)
 - ✓ESI2.0への更新への作業状況
- 関連業界の動向（例：口港よりZEPAの紹介など）

○ データ連携 Data Collaboration

- IMOにおけるロビー活動
 - ✓税関（貿易手続）との連携
 - ✓世銀との手続きの電子化における連携
 - ✓サイバーセキュリティ強化への対応
 - ✓サプライチェーン全体の円滑化と強靱化
- 港湾関係の仕事の将来（Future of Work P）
- 業界4団体との共同P：サプライチェーン強靱化 [chainPORT、DCSA、TIC4.0、IPCSA]
- ツール：
 - ✓WCO/IAPHによる税関と港湾の協働ガイドライン
 - ✓世銀/IAPHによる世界のPCS報告書

○ リスクと強靱性 Risk & Resilience

- IMOにおけるロビー活動
- ISPSコードの強化 [密貿易・組織犯罪対応]
- ツール：
 - ✓リスクと強靱性ガイドラインの普及
 - ✓世銀発行：港湾改革ツールキット
- 世界港湾トラッカー
- 関連トピック：船上火災への対応（港湾側の備え）

○ 法律 Legal

- IMO法律委員会の動向
- 世銀発行：港湾改革ツールキットの更新

○ クルーズ Cruise

- クルーズ業界の状況（世界港湾トラッカーのデータ）
- クルーズ船用陸電について（ESI at berthの普及）
- 事例共有：寄港に関する市民団体への対応例ほか

○ 計画運営財務 Planning, Operation & Finance

- コンテナターミナルの用途転換
- PPPによる港湾経済への負の影響の防止対策

IAPH 技術委員会DAYS in ロンドン

○ **日時**：令和6年(2024) 3月25日(月)～27日(水)

参考：IMO MEPC81 [3月18日～22日] FAL48 [4月8日～12日]

○ **場所**：ロンドン市内（会場最終決定前）

○ 総会・世界港湾会議から技術委員会を切り離す形で設置

○ **参加費無料**

○ **対面とオンラインのハイブリッド開催**（但しロンドン時間）

○ **プログラムの概要**（詳細は最終決定前）

[1日目 午後]

ー 開会

ー WPSPの現状と今後

[2日目 終日]

ー 2つのセッション×4コマ、計8セッションを並行開催

ー 技術委員会に即したテーマ（深堀 and/or 横断的）

[3日目 午前]

ー 法律&クルーズ委員会

ー 気候エネルギー&データ連携&リスクと強靱化の3委員会

※計画・運営・財務委員会は内容がIMOと関連が薄いため、開催なし

昨年の8セッション

第一セッション

- 代替船舶燃料と港湾の準備
- サプライチェーンの強靱化

第二セッション

- MBMと収益の利用
- リスクとレジリエンス

第三セッション

- インセンティブ：ESI
- 寄港の最適化とデジタル

第四セッション

- 港湾でのイノベーション
- 陸電

日付 日本時間 (現地時間)	4/18 (火)	4/19 (水)	4/20 (木)
17:00 (9:00)	<p>ご参考： 昨年の例</p>	<p>第一セッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 代替船舶燃料と港湾の準備 ➤ サプライチェーンの強靱化 	<p>技術委員会 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ クルーズ ➤ 法律
18:00 (10:00)			
18:30 (10:30)			<p>技術委員会 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 気候・エネルギー ➤ リスク・レジリエンス ➤ データ連携
19:00 (11:00)			
20:00 (12:00)			
20:30 (12:30)			
21:00 (13:00)			
21:30 (13:30)			<p>第二セッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ MBMと収益の利用 ➤ リスクとレジリエンス
23:00 (15:00)	<p>全体会議 各委員会の概要</p>	<p>第三セッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ インセンティブ：ESI ➤ 寄港の最適化とデジタル 	<p>全体会合</p>
23:30 (15:30)			
25:00 (17:00)	<p>全体セッション WPSP: 現在と未来</p>	<p>第四セッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 港湾でのイノベーション ➤ 陸電 	

ESI 2.0（仮）への取組

- IMOで2027年頃からGHG規制が運用開始される見込み
- ESIは2025年1月1日から新しい評点システム（ESI 2.0）のデータ入力を受付開始予定（半年分の燃料記録がベースになるので、半年後から点数が出る。）

現行

NOx	SOx	GHG
66.6	33.3	30

基本

100

ボーナス加点

2.0

Air Quality	GHG		新技術
NOx	Fuel Quality	Fuel Intensity	Innovation
40	20	40	20